



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月13日

上場会社名 高圧ガス工業株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 4097 URL <http://www.koatsugas.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 竹内 弘幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 神田 忠幸 TEL (06) 6311-1361
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績 (平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
23年3月期第1四半期	16,133 6.9	1,056 70.7	1,251 59.9	670 51.3
22年3月期第1四半期	15,092 △21.7	618 △46.7	782 △41.3	442 △41.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	12. 14	—
22年3月期第1四半期	8. 01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	56,966	33,857	58.5	604. 93
22年3月期	57,319	33,871	58.2	605. 09

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 33,363百万円 22年3月期 33,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	6. 00	—	6. 00	12. 00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	6. 00	—	6. 00	12. 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
第2四半期(累計)	30,500 1.7	1,600 21.8	1,800 12.5	950 12.5	15. 20
通期	63,000 0.8	3,400 7.0	3,800 2.6	2,100 1.7	37. 78

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

（注） 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

（注） 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 無

（注） 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	55,577,526株	22年3月期	55,577,526株
23年3月期1Q	426,200株	22年3月期	420,544株
23年3月期1Q	55,154,154株	22年3月期1Q	55,236,790株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新興国の経済成長に支えられ、輸出の拡大を軸に企業収益の持ち直しの動きがみられたものの、欧州の信用不安や世界経済の先行き懸念による株安や円高の影響もあり、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは販売体制の強化をはかるとともに積極的な営業活動を推進してまいりました結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は161億33百万円（前年同期比6.9%増加）、営業利益は10億56百万円（前年同期比70.7%増加）、経常利益は12億51百万円（前年同期比59.9%増加）、四半期純利益は6億70百万円（前年同期比51.3%増加）となりました。

当第1四半期連結会計期間における、各セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① ガス事業

ガス事業において、「溶解アセチレン」は、造船が堅調に推移したものの、公共工事等の低迷により、建設、橋梁等仕向け先業界全般にわたり需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

「その他工業ガス等」は、自動車、建設機械、電機、半導体向けに需要が回復し、売上高は前年同期を上回りました。

「溶接溶断関連機器」は、設備投資の凍結や先送りなどが影響したものの、スポット需要が寄与して、売上高は前年同期を上回りました。

「容器」は、特殊容器の需要が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

これらの結果、ガス事業の当第1四半期連結売上高は126億40百万円、営業利益は10億64百万円となりました。

② 化成品事業

化成品事業において、「接着剤」ペガールは、海外向け粘着剤用が円高の影響を受け減少しましたが、紙加工用の需要が増加し、塗料用は新規需要により増加しました。瞬間接着剤シアノンは、国内が弱電関係向けに好調な伸びを示し、海外は円高の影響を受けたものの拡販に努めた結果、売上高は前年同期を上回りました。

「塗料」は、遮熱塗料クールトップが前期並みに推移したものの、防水保護塗料HPトップなど建築向け塗料が住宅着工件数減少の影響を受け、売上高は前年同期を下回りました。

これらの結果、化成品事業の当第1四半期連結売上高は33億5百万円、営業利益は1億80百万円となりました。

③ その他事業

その他事業は、LSIカードの需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

これらの結果、その他事業の当第1四半期連結売上高は1億87百万円、営業利益は14百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（総資産）

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億53百万円減少して569億66百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億75百万円増加して322億39百万円となりました。これは主に、繰延税金資産が1億47百万円減少したものの、売上高の増加に伴ない売上債権が2億34百万円及び棚卸資産が1億15百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ6億28百万円減少して247億27百万円となりました。これは主に、繰延税金資産が2億38百万円増加したものの、投資有価証券が前連結会計年度末に比べ5億71百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第 1 四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ 3 億39百万円減少して231億 9 百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ16億23百万円増加して203億45百万円となりました。これは主に、賞与引当金が前連結会計年度末に比べ 4 億82百万円減少したものの、長期借入金20億円が 1 年内返済予定の長期借入金になったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ19億63百万円減少して27億63百万円となりました。これは主に、長期借入金20億円が 1 年内返済予定の長期借入金になったことによるものであります。

(純資産)

当第 1 四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ13百万円減少して338億57 百万円となりました。これは主に、利益剰余金が 3 億39百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が前連結会計年度末に比べ 3 億48百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第 1 四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、賞与引当金の減少額が 4 億82百万円及び法人税等の支払額が 6 億57百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が11億38百万円及び短期借入金の借入れによる収入が 1 億円あったため、25百万円増加し、102 億89百万円(前年同期比21.4%増加)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第 1 四半期連結会計期間における営業活動の結果得られた資金は、4 億25百万円(前第 1 四半期連結会計期間は 1 億36百万円の支出)となりました。

これは主に、賞与引当金の減少額が 4 億82百万円及び法人税等の支払額が 6 億57百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が11億38百万円及び減価償却費が 3 億66百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第 1 四半期連結会計期間における投資活動の結果使用した資金は、1 億63百万円(前年同期比 66.6%減少)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が 2 億 5 百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第 1 四半期連結会計期間における財務活動の結果使用した資金は、2 億37百万円(前第 1 四半期連結会計期間は16億60百万円の獲得)となりました。

これは主に、短期借入金の借入れによる収入が 1 億円あったものの、配当金の支払額が 3 億32百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては、平成22年 5 月14日に発表いたしました第 2 四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用し、連結決算上必要な修正を行なっています。

これによる損益に与える影響はありません。

②「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しています。

これにより税金等調整前四半期純利益は、92百万円減少しています。

③「連結財務諸表に関する会計基準」の適用に伴う表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成22年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,304	10,299
受取手形及び売掛金	18,457	18,223
商品及び製品	1,781	1,702
仕掛品	328	297
原材料及び貯蔵品	633	629
繰延税金資産	488	635
その他	369	285
貸倒引当金	△125	△109
流動資産合計	32,239	31,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,363	4,450
機械装置及び運搬具（純額）	2,282	2,394
土地	9,816	9,821
建設仮勘定	9	6
その他（純額）	729	773
有形固定資産合計	17,201	17,446
無形固定資産		
のれん	32	37
その他	280	299
無形固定資産合計	312	336
投資その他の資産		
投資有価証券	5,759	6,331
繰延税金資産	582	343
その他	993	1,035
貸倒引当金	△121	△137
投資その他の資産合計	7,213	7,573
固定資産合計	24,727	25,356
資産合計	56,966	57,319

(単位：百万円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成22年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 3 月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,424	12,363
短期借入金	3,652	3,552
1年内返済予定の長期借入金	2,000	—
未払法人税等	346	671
賞与引当金	449	931
その他	1,473	1,202
流動負債合計	20,345	18,721
固定負債		
長期借入金	1,000	3,000
退職給付引当金	465	486
役員退職慰労引当金	509	499
繰延税金負債	406	448
負ののれん	19	24
その他	362	268
固定負債合計	2,763	4,726
負債合計	23,109	23,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,885	2,885
資本剰余金	2,745	2,745
利益剰余金	27,306	26,967
自己株式	△213	△210
株主資本合計	32,723	32,387
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	640	988
評価・換算差額等合計	640	988
少数株主持分	494	496
純資産合計	33,857	33,871
負債純資産合計	56,966	57,319

(2) 四半期連結損益計算書

【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)
売上高	15,092	16,133
売上原価	11,155	11,851
売上総利益	3,937	4,282
販売費及び一般管理費	3,318	3,225
営業利益	618	1,056
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	56	74
受取手数料	21	28
負ののれん償却額	11	4
持分法による投資利益	30	20
その他	106	103
営業外収益合計	230	234
営業外費用		
支払利息	25	23
手形売却損	0	—
その他	41	16
営業外費用合計	67	39
経常利益	782	1,251
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
投資有価証券評価損	—	3
ゴルフ会員権評価損	—	13
役員退職慰労金	—	4
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	92
特別損失合計	—	114
税金等調整前四半期純利益	782	1,138
法人税、住民税及び事業税	120	352
法人税等調整額	225	108
法人税等合計	345	460
少数株主損益調整前四半期純利益	—	678
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△5	8
四半期純利益	442	670

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	782	1,138
減価償却費	423	366
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△556	△482
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△25	△20
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△112	10
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△142	△91
受取利息及び受取配当金	△60	△76
支払利息	25	23
持分法による投資損益 (△は益)	△30	△20
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	3
ゴルフ会員権評価損	—	13
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	92
売上債権の増減額 (△は増加)	1,060	△232
たな卸資産の増減額 (△は増加)	79	△115
仕入債務の増減額 (△は減少)	△984	61
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△25	44
その他	377	315
小計	810	1,028
利息及び配当金の受取額	60	76
利息の支払額	△25	△23
法人税等の支払額	△981	△657
営業活動によるキャッシュ・フロー	△136	425
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	42	42
定期預金の預入による支出	△21	△21
有形固定資産の取得による支出	△369	△205
投資有価証券の取得による支出	△84	△16
投資有価証券の売却による収入	0	9
その他の支出	△86	△2
その他の収入	29	31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△488	△163
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,052	100
配当金の支払額	△388	△332
その他の支出	△3	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,660	△237
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,036	25
現金及び現金同等物の期首残高	7,437	10,263
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,473	10,289

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	ガス事業 (百万円)	化成品事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	11,914	3,177	15,092	—	15,092
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	11,914	3,177	15,092	(—)	15,092
営業利益	777	149	927	(308)	618

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっています。

2 各事業の主な製品

- (1) ガス事業……各種高圧ガス（溶解アセチレン、酸素、窒素、アルゴン等）、各種ガス関連機器（溶接・溶断関連機器）等
- (2) 化成品事業…接着剤、塗料等

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、その記載を省略しています。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、その記載を省略しています。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行なう対象となっているものであります。

当社グループは、経営組織の形態と取扱い製品及び商品に基づき、「ガス事業」、「化成品事業」、「その他事業」の3つを報告セグメントとしています。

各セグメントの主要な製品及び商品は以下のとおりであります。

セグメント	主要な製品及び商品
ガス事業	溶解アセチレン、その他工業ガス等、溶接溶断関連機器、容器、設備の賃貸等
化成品事業	接着剤、塗料、設備の賃貸等
その他事業	L S I カード等

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第 1 四半期連結累計期間(自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,640	3,305	187	16,133	—	16,133
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,640	3,305	187	16,133	—	16,133
セグメント利益	1,064	180	14	1,259	△202	1,056

(注) 1 セグメント利益の調整額△202百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

(追加情報)

当第 1 四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年 3 月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年 3 月21日)を適用しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。